令和３年度
クリーニング師学科試験問題

指示があるまで開いてはいけません

試験時間６０分

受験番号		氏　名	

衛生法規に関する知識

問１　クリーニング業法第２条の条文について、（　）に入る語句を語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

この法律で「クリーニング業」とは、溶剤又は（　ア　）を使用して、衣類その他の繊維製品又は（　イ　）を原型のまま洗たくすること（繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行なうことを含む。）を営業とすることをいう。

この法律で「（　ウ　）」とは、クリーニング業を営む者（洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡しをすることを営業とする者を含む。）をいう。

この法律で「クリーニング師」とは、第６条に規定する（　エ　）を受けた者をいう。

１．洗剤	２．柔軟剤	３．漂白剤
４．依頼品	５．生活用品	６．皮革製品
７．届出者	８．登録者	９．営業者
10．認可	11．免許	12．登録

問２　クリーニング業法施行規則第１条に規定する消毒を要する洗たく物として、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。なお、当該洗濯物は営業者に引き渡される前に消毒されていないものとします。

１　伝染性の疾病にかかつている疑いのある者が使用した物として引き渡されたもの
２　寝巻き、タオルその他これらに類するもの
３　病院又は診療所において療養のために使用された寝具その他これに類するもの

問３　クリーニング業法施行規則第１条の２に規定する、クリーニング所において苦情の申し出先として店頭に掲示しておくものの記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

１　クリーニング所の名称
２　クリーニング師の氏名
３　クリーニング所の営業者の氏名
４　クリーニング所の電話番号

問４　クリーニング業法第５条の２に規定するクリーニング所の使用について述べたものですが、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　営業者は、そのクリーニング所の衛生管理方法について都道府県知事の検査を受け、その衛生管理方法が第３条第２項又は第３項の規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。
２　営業者は、そのクリーニング所の構造設備について都道府県知事の検査を受け、その構造設備が第３条第２項又は第３項の規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。
３　営業者は、そのクリーニング所の構造設備について都道府県知事の検査を受け、その構造設備が都道府県が条例で定める規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。

問５　クリーニング業法に基づきクリーニング所の立入検査を行う権限を有している者の資格として、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　危険物取扱者
２　衛生検査技師
３　環境衛生指導員
４　環境衛生監視員

問６　クリーニング業法第１２条の条文について、（　）に入る語句の組み合わせとして、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

（　ア　）は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して（　イ　）以上の刑に処せられたときは、その免許を（　ウ　）ことが出来る。

	ア	イ	ウ
1	都道府県知事	罰金	取り消す
2	厚生労働大臣	懲役	期間を定めて停止する
3	都道府県知事	懲役	期間を定めて停止する
4	厚生労働大臣	罰金	取り消す

問７　引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場について、建築基準法（昭和２５年法律第２０１号）上、安全性の観点から立地が原則禁止されている用途地域として、次の４地域のうち正しいものの数を解答欄に記入しなさい。

準住居地域　　準工業地域　　商業地域　　工業地域

問８　国からの通知である「クリーニング所における衛生管理要領」に示されている、指定洗濯物の一般的な消毒方法及び消毒効果を有する洗濯方法に関する記述で、誤っているものを２つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　指定洗濯物は蒸気がま等を使用し、１００℃以上の湿熱に１０分間以上触れさせる必要がある。

２　指定洗濯物はさらし粉、水酸化ナトリウム等を使用し、その遊離塩素２５０ppm 以上の水溶液中に３０℃以上で５分間以上浸す必要がある。

３　洗濯物の処理工程の中に、洗濯物を８０℃以上の熱湯で５分間以上処理する工程を含むものは、消毒効果を有する洗濯方法といえる。

４　洗濯物の処理工程の中に、四塩化（パークロル）エチレンに５分間以上浸し洗濯した後、四塩化エチレンを含む状態で５０℃以上に保たせ、１０分間以上乾燥させる工程を含むものは、消毒効果を有する洗濯方法といえる。

公衆衛生に関する知識

問１　次の記述はWHO憲章の健康に関するものである。（　）に入る語句を下の枠内の語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

健康とは、完全な肉体的、（　ア　）及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は虚弱の存在しないことではない。

到達しうる最高基準の（　イ　）を享有することは、人種、（　ウ　）、政治的信念又は（　エ　）若しくは社会的条件の差別なしに万人の有する（　オ　）的権利の一である。

１．衛生的	２．精神的	３．経済的
４．生活	５．健康	６．睡眠
７．性別	８．宗教	９．安心
10．基本	11．文化	12．肉体

問２　次の記述は保健所に関するものである。正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　保健所の設置について定めている法律は、保健所法である。
２　保健所を設置できるのは、都道府県のみである。
３　保健所の業務に、消費生活相談情報の収集・分析・提供に関する事項がある。
４　保健所の業務に、衛生上の試験及び検査に関する事項がある。

問３　次の記述は感染症対策に関する内容である。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　感染の成立は、「病原体（感染源）」「感染経路」「宿主」の３つの要因が揃うことでおきる。
２　感染制御の原則は、病原体を「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」が基本である。
３　手指消毒薬を使用する場合は、５秒程度で乾く使用量が適量である。
４　作業をするときに手袋を着用するのは、感染経路の遮断の目的である。

問４　次の記述は感染症と病原体媒介することが多い生物に関するものである。正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　日本脳炎　－　ノミ
２　ツツガ虫病　－　ダニ
３　ペスト　－　シラミ
４　発疹チフス　－　ダニ

問５　次の記述は、生活習慣病に関する内容である。正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　日本高血圧学会による高血圧診断基準は、診察室での収縮期血圧（最大血圧）が150ｍｍＨｇ以上または、拡張期血圧（最小血圧）が90ｍｍＨｇ以上の場合を高血圧という。
２　特定保健指導には、リスクの程度に応じて「動機づけ支援」と「積極的支援」の２つの区分がある。
３　健康増進法は国民の健康の総合的な推進に関する基本的な事項を定めているが、その中の責務には国民に対する事項はない。
４　我が国の糖尿病の大部分を占めるのはⅠ型糖尿病で、その発症には、食生活や運動などの生活習慣が大きく関係している。

問６　次の記述は、ノロウイルスによる感染症に関する内容である。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　ノロウイルスにかかる吐ぶつやふん便などが付着したリネン類の消毒に関しては、下洗いの際には、炭酸水素ナトリウムが1,000ｐｐｍ以上になるようにして消毒をする。
２　ノロウイルスに関する感染性胃腸炎や食中毒は、年間通して発生するが、特に冬季に流行する。
３　感染経路はほとんどが経口感染である。
４　発症した場合は、このウイルスに有効な抗ウイルス剤はないため、通常は対症療法が行われ、脱水がひどいときなどは、医療機関で輸液を行うこともある。

問７　次の記述は、アタマジラミに関するものである。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　人の頭髪や眉毛に寄生して世代を繰り返して生息する。
２　アタマジラミの寄生を受けるのは、不潔にしている者だけである。
３　伝搬経路は頭部が触れ合う遊びなど接触や、帽子、ヘアーブラシ、タオル等の物品の共用でも伝搬し、近年は、園児、児童での発生もある。
４　駆除方法は、洗髪の励行、目の細かなクシで髪をすく、髪の毛の触れるタオルは毎日洗濯する、ヘアブラシやタオルの共用はしないなどがある。

問８　次の記述は、健康問題と関連する原因物質等に関する組み合わせである。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　PM２．５　－　呼吸器疾患
２　アスベスト　－　中皮腫
３　有機化合物　－　シックハウス症候群
４　カドミウム　－　水俣病

問９　次の記述は労働安全衛生及び関連する健康管理に関するものである。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　有機溶剤を使用する者を対象とした健康管理を行うのは、「有機溶剤中毒予防規則」である。
２　テトラクロロエチレンを使用する者を対象とする健康管理を行うのは、「特定化学物質障害予防規則」であるが、対象が限定されているため、有機溶剤使用者よりも簡易な内容である。
３　労働安全衛生法においても事業主は、労働者の受動喫煙を防止するための適切な措置を講ずるように求められている。
４　常時 50 人以上の労働者を使用する事業場においては、産業医を選定し、従業員の健康管理や作業の管理に関する事項等を行うこととなっている。

洗たく物の処理に関する知識

問１　ドライクリーニングに関して、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

１　石油系溶剤はテトラクロロエチレンと比較して比重が小さく、油脂溶解力も小さいので、ソフト洗いに適している。
２　ドライクリーニング溶剤だけでは十分な洗浄ができないためドライクリーニング用洗剤（ドライソープ）を使用するが、ドライソープの代わりに水洗用洗剤を使用してもよい。
３　石油系ドライ機で洗浄する場合、溶剤の温度が６０℃を超えないように注意する必要がある。
４　ドライクリーニングにおける仕上げの３条件とは、「湿気・熱・圧力」である。
５　洗濯物に石油系溶剤が残留した場合、化学やけど（皮膚障害）が発生するが、直接の原因は乾燥不十分にほかならない。

問２　シミ抜きを行う際の処理の順番ついて、(　) に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

しみ抜きは　①（ア）処理→　②（イ）処理→　③酵素処理→　④（ウ）処理→　⑤還元漂白処理の順に進める。

	ア	イ	ウ
1	油性	水溶性	酸化漂白
2	水溶性	酸化漂白	油性
3	酸化漂白	油性	水溶性

問３　ランドリー工程に関する説明として、誤っているものを２つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　漂白剤は黄ばみ、シミ、汚れを分解し、漂白するほか殺菌効果もある。
２　綿１００％とポリエステル混紡品を洗濯する場合、白物であれば分けて洗う必要はない。
３　本洗いは石けん又は洗剤を使用し、洗剤の洗浄を助けるためアルカリ剤（メタ珪酸ナトリウム）を加えｐＨを６～７に保つ。
４　糊付けは、繊維をコーティングすることにより汚れが直接付かないようにし、付着した汚れが容易に取れるようにする目的で行う。

問４　漂白剤として主に使用される過炭酸ナトリウムに関する説明として、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　標準使用量は１リットルあたり５グラム～１０グラムで、時間は長いほど漂白効果が出る。
２　４０℃以上で効果を発揮し緩やかに分解するので生地を傷めることが少ない。
３　この漂白剤は酸素系漂白剤であり、ほとんどの染色物に適用でき、含金染料染色物にも使用できる。

問５　繊維の特徴に関する説明として、正しいものを２つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　羊毛は繊維表面のスケールと呼ばれる鱗が湿潤状態で揉まれると繊維が絡みあって収縮しフェルト化しやすくなる。
２　ポリエステルは絹の外観に似せて人工的に作った再生繊維である。
３　麻は吸湿性がありサラッとしてべとつかない特徴を持つが保温性も高い。
４　ナイロンは熱に対して弱く、タバコの火やストーブなどで溶融し、穴が開く。

問６　特殊クリーニングに関する説明として誤っているものを２つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　皮革の仕上げには人体プレス機を使い、６０℃～７０℃で蒸気量を少なめにして短時間処理をする。
２　毛皮をクリーニング後に保管する際の条件は、温度１０℃～１５℃、湿度４５％～５０％が最適である。
３　和服の生洗いとは汚れの部分をブラッシングしたのち、石油系溶剤に和服全体を浸潤して洗う方法である。
４　カーペットはドライワッシャーに入る程度の大きさであれば、裏ゴム張りが施されていてもドライクリーニングできる。

問７　ウェットクリーニングに関する説明として、（　）に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ウエットクリーニングの対象となるものは（ア）対象品であるが、（イ）汚れを除去する必要がある製品である。例としては、（ウ）素材で飲食物汚れのある子ども用外衣などが挙げられる。

	ア	イ	ウ
1	ランドリー	水溶性	綿
2	ドライクリーニング	水溶性	毛
3	ドライクリーニング	油性	綿

問８　新 JIS L 0001 による繊維製品の取扱いに表示記号の説明について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

1  酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用できない

2 

液温は４０℃を限度とし手洗いをする

3  底面温度２００℃を限度としアイロンがけできる

4  洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。
ただし、排気温度の上限は６０℃とする。

5 

通常のウエットクリーニング処理ができる。

令和３年度クリーニング師試験問題解答

受験番号		氏名	

１．衛生法規に関する知識　（配点：１００点）

問　1			
ア	イ	ウ	エ
1	6	9	11

（５点×４問）

問　2
3

（１０点）

問　3			
1	2	3	4
○	×	×	○

（５点×４問）

問　4
2

（１０点）

問　5
4

（１０点）

問　6
1

（１０点）

問　7
2

（１０点）

問　8	
2	3

（５点×２問）

得点	/ 100

２．公衆衛生に関する知識　（配点：１００点）

問　1				
ア	イ	ウ	エ	オ
2	5	8	3	10

（４点×５問）

問　2
4

（１０点）

問　3
3

（１０点）

問　4
2

（１０点）

問　5
2

（１０点）

問　6
1

（１０点）

問　7
2

（１０点）

問　8
4

（１０点）

問　9
2

（１０点）

得点	/ 100

３．洗たく物の処理に関する知識　（配点：１００点）

問　1				
1	2	3	4	5
○	×	×	○	○

（４点×５問）

問　2
1

（１０点）

問　3	
2	3

（５点×２問）

問　4
2

（１０点）

問　5	
1	4

（５点×２問）

問　6	
3	4

（５点×２問）

問　7
2

（１０点）

問　8				
1	2	3	4	5
○	×	×	○	×

（４点×５問）

得点	/ 100

総得点	/ 300